

| | | | |
|---|--------------------|--|--|
| 平成23年度 シラバス | 学年・期間・区分 | 2年次・前期・A群 | |
| | 対象学科・専攻 | 機械・電気電子・電子制御・情報・都市環境デザイン工学科 | |
| 英語演習 II (Language Laboratory II) | 担当教員 | 嵯峨原 昭次(Sagahara, Shoji) Daniel Thomas Wheatley | |
| | 教員室 | 図書館2階(tel.42-9062) 非常勤講師室 (内線2167) | |
| | E-Mail | sagahara@kagoshima-ct.ac.jp sas_fukushima@hotmail.com | |
| 教育形態 / 単位の種別 / 単位数 | 講義・演習 / 履修単位 / 1単位 | | |
| 週あたりの学習時間と回数 | 授業 (100分) ×15回 | | |
| [本科目の目標] LL教室で専用の機材を活用して、発音・スピーチ・リスニングの演習を通して、英語を聞き取り、話す基本的な能力を育成する。 | | | |
| [本科目の位置付け] 1年次の英語演習 I で習得した英語発音 (ハミング 8 メソッド) を復習し正しい英語発音を持続させながら、リスニング能力・スピーキング能力を更に向上させて、3年次の英語演習 III につなげる。 | | | |
| [学習上の留意点] ① 1年次の英語演習で習得したハミング 8 メソッドの練習を続けること。 ② 発音実践テストは評価が高いので真剣に取り組むこと。 ③ リスニングの問題集を利用して演習すること。 | | | |
| [授業の内容] | | | |
| 授 業 項 目 | 時限数 | 授業項目に対する達成目標 | 予習の内容 |
| 1) 前期中間試験まで ① Pronunciation(Step6-8)の総復習 ② Speech(Short Speech) ③ Listening ④ 表現 | 1 5 | ① Step6「音の動き」が発音できる。Step7「音の変化」が発音できる。Step8「音の強弱」が発音できる。 ② 題目を与えられて、短いスピーチを英語で発表できる。 ③ 専用リスニングテキストを活用して、準2級リスニングレベルの問題がほぼ完全に理解できる。 ④ 対話(場面)の表現が理解できる。 | ① 教科書を読んで Step6,7,8の概要を把握しておくこと。 ② スピーチ原稿を作成して練習しておくこと ④ 教科書の指定されたところを予習して平常テストに備えること。 |
| 2) 前期期末試験まで ① Pronunciation(暗唱文) ② Speech(Dialogue) ③ Listening ④ 表現 — 前期期末試験 — | 1 3 | ① 暗唱文を正しい発音で読める。 ② 英語で相手と対話を発表できる。 ③ 専用リスニングテキストを活用して、準2級リスニングレベルの問題がほぼ完全に理解できる。 ④ 対話(場面)の表現が理解できる。 | ① 暗唱文の読みの練習をしておくこと。 ② 対話の原稿を練習しておくこと。 ④ 教科書の指定されたところを予習して平常テストに備えること。 |
| 試験答案の返却・解説 | 2 | 授業項目①～④について達成度を確認する。 各試験において間違った部分を理解出来る。 | |

